

4章. 石川県を襲った地震-過去の液状化被害-

過去に顕著な被害を及ぼした地震は13回あり、そのうち8回の地震で液状化と思われる現象が確認されています。

石川県に被害を及ぼした主な地震一覧表

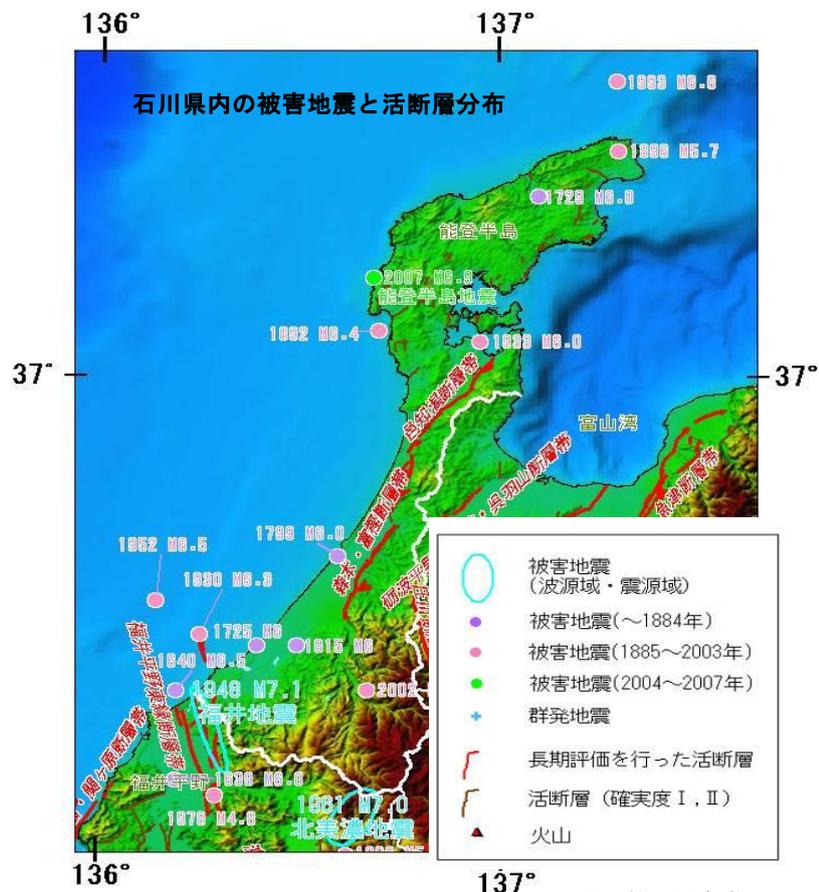
発生西暦	発生和歴	地震の地域(名称)	主な被害	液状化履歴	最大震度
1729年 8月 1日	享保 14年	(能登・佐渡)	珠洲郡、鳳至郡で死者 5 名、家屋全壊・損壊 791 棟、輪島村で家屋全壊 28 棟、能登半島先端で被害が大きい。	記録なし	不明
1799年 6月 29日	寛政 11年	(加賀)	金沢城下で家屋全壊 26 棟、能美・石川・河北郡で家屋全壊 964 棟、死者 21 名。	履歴あり	6
1833年 12月 7日	天保 4年	(羽前・羽後・越後・佐渡)	死者 47 名	記録なし	不明
1891年 10月 28日	明治 24年	濃尾地震	家屋全壊 25 棟	履歴あり	5
1892年 12月 9日	明治 25年	(能登半島)	羽咋郡高浜町・火打谷村で家屋損壊あり。堀松村末吉で死者 11 名、負傷者 5 名、家屋全壊 2 棟。	記録なし	不明
1930年 10月 17日	昭和 5年	(大聖寺付近)	小松町等で噴水	履歴あり	6
1933年 11月 21日	昭和 8年	(能登半島)	死者 3 名、負傷者 55 名、住宅全壊 2 棟	履歴あり	5
1944年 12月 7日	昭和 18年	東南海地震	住宅全壊 3 棟	記録なし	4
1948年 6月 28日	昭和 23年	福井地震	死者 41 名、負傷者 453 名、家屋全壊 802 棟	履歴あり	6
1952年 3月 7日	昭和 27年	大聖寺沖地震	死者 7 名、負傷者 8 名	履歴あり	5
1961年 8月 19日	昭和 36年	北濃尾地震	死者 4 名、負傷者 7 名	記録なし	4
1993年 2月 7日	平成 5年	能登半島沖地震	負傷者 29 名、住宅全半壊 21 棟	履歴あり	5
2007年 3月 25日	平成 19年	平成 19 年能登半島地震	死者 1 名、負傷者 338 名、家屋全壊 684 棟	履歴あり	6 強

※文献 5)をもとに作成

1799年6月29日に発生したM6.0の金沢地震では、現在の金沢市を中心に死者や家屋倒壊等の被害が生じ、金沢市、内灘町で液状化履歴が確認されています。加賀地域では、1891年10月28日に岐阜県で発生したM8.0の濃尾地震及び1930年10月17日に発生した大聖寺沖地震により、金沢市から加賀市の海岸付近で液状化が確認されています。

能登半島では、1933年11月17日に七尾市付近で発生したM6.0の地震により、能登島を含む七尾湾沿岸部で液状化が発生し、1993年2月7日のM6.6の能登半島沖地震では、珠洲市の海岸付近で液状化が確認されています。

最近では、2007年3月25日に石川県輪島市西南西沖40kmの日本海で発生したM6.9の能登半島地震により志賀町、輪島市、珠洲市、穴水町、七尾市の主に湾岸埋立地と河川流域の低地部において液状化が起きました。液状化現象として、噴砂による構造物の沈下、マンホールの浮き上がり、地盤の側方流動による建築物の変状が確認されています。



※文献 6)より転載